

特別展

伊豆半島 仏像めぐり

伊豆13市町の
仏たち

伊豆の国市 函南町 三島市 熱海市 伊東市 東伊豆町 河津町 下田市 南伊豆町 松崎町 西伊豆町 沼津市 北伊豆町

同時
開催

画家たちの旅

— 梅原龍三郎、牛島憲之、
ルノワールが見た風景 —



牛島憲之《夕月富士》1987年 当館蔵 新収蔵・初公開

14年ぶりに寺外公開

2019年

4月6日(土) — 6月30日(日)

会期中無休

開館時間 | 午前9時 — 午後5時

(入館は午後4時30分まで)

入館料 | 大人1,000円 / 学生500円 /

高校生以下無料

* 仏教館・近代館共通券です

* 団体10名以上は10%割引

東洋と西洋の美の出あい

 上原美術館
Uehara Museum of Art

《観音菩薩坐像》鎌倉後期—南北朝時代
伊豆の国市・北條寺蔵 静岡県指定文化財
撮影 田畑みなお





1



2



3

静岡デスティネーション・キャンペーン記念

特別展 伊豆半島仏像めぐり — 伊豆13市町の仏たち —

●熱海市《地藏菩薩半跏像》(1349年/保善院/市指定) ●伊東市《天部形立像》(平安時代/恵鏡院) ●三島市《地藏菩薩坐像》(鎌倉時代/光安寺/市指定) ●沼津市《神将立像》(鎌倉時代/赤野観音堂) ●伊豆市《伝観音菩薩坐像》(室町時代/修禅寺/図版2) ●伊豆の国市《観音菩薩坐像》(鎌倉後期-南北朝時代/北條寺/県指定) ●下田市《阿彌陀如来坐像》(平安時代/向陽寺) ●松崎町《阿彌陀三尊像》(鎌倉時代/吉田区/県指定/図版1) ●河津町《観音菩薩立像》(平安時代/林際寺) ●南伊豆町《阿彌陀如来半跏像》(江戸時代/青龍寺) ●西伊豆町《不動明王立像》(平安時代) ●東伊豆町《野崎牛助家次像》(江戸時代/個人蔵/図版3) ●函南町《観音菩薩立像》《地藏菩薩立像》(平安時代/かななみ仏の里美術館/県指定)

火山が生んだ大地を大小の河川や海が長い時をかけて刻み、複雑で美しい地形を作り上げた伊豆半島。変化に富む地形は、人々の多様な営みを生み、地域ごとに特色ある歴史を紡ぎ出してきました。

本展は、伊豆に存在する7つの市と6つの町からそれぞれ1点ずつ仏像を選び、展示いたします。時代は平安時代から江戸時代まで、大きさも選ばれた基準も様々ですが、それぞれ各地の人々の信仰を集め、守り伝えられてきた貴重な文化財です。13市町出身の個性的な仏像との出会いを通じて、伊豆の歴史と文化に触れ、その魅力を再発見していただければ幸いです。

同時開催

画家たちの旅

— 梅原龍三郎、牛島憲之、ルノワールが見た風景 —

画家たちは旅をして、風景や人々と出会い、新しい絵画を生み出してきました。本展では、梅原龍三郎、牛島憲之から印象派の画家たちまで、旅からインスピレーションを得た絵画の数々をご紹介します。



梅原龍三郎《北京長安街》1939年 当館蔵



オーギュスト・ルノワール《アルジャントゥイユの橋》1873年 当館蔵

仏教館・近代館 関連イベント

ミニ講座

演題 伊豆半島仏像めぐり

講師 田島整(当館主任学芸員)

日時 4/22(月)、5/26(日)、6/2(日)

13:30~15:30 ※各回とも同じ内容になります

会場 上原美術館 近代館 会議室

定員 各回30名 ※先着順、要予約・要入館券

参加方法 ①お名前 ②ご住所 ③お電話番号 ④参加人数(2名様まで) ⑤参加希望日を明記の上、郵便はがき、もしくはEメール(info@uehara-museum.or.jp)にてお申込みください

学芸員による作品解説

日時 毎月第3土曜日 11:00~/14:00~

仏教館・近代館 約30分ずつ

会場 上原美術館展示室

参加方法 当日、仏教館にお集まりください ※要入館券



●お車で 東名高速道路 沼津ICより
下田方面へ 1時間40分

●鉄道・バスで 東京駅より特急踊り子号
2時間40分 伊豆急下田駅下車
同駅より堂ヶ島方面行バス 20分
相玉下車 徒歩15分

東洋と西洋の美の出あい

上原美術館
Uehara Museum of Art

〒413-0715 静岡県下田市宇土金341
Tel. 0558-28-1228 www.uehara-museum.or.jp